

「今週の1枚」



グンバイトンボ（モノサシトンボ科）

オスの中・後脚が軍配のように扁平に広がる。山沿いの湧水地や緩やかな清流にしか生息できない、珍しいトンボである。もともと分布域が限られていたうえに、里山の開発によって生息地が破壊されたために個体数の減少が著しく、環境省は絶滅の恐れのある種（絶滅危惧II類）に選定して保全を呼びかけている。幸い高知県には生息地が比較的多く、四万十川の東部流域と新庄川流域の、森林と水田が接するあたりの緩流（まれに止水）に生息する。成虫は、5月中旬から8月中旬まで見られる。

（No.6 2001.7.9 掲載）